

特別展

ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展

会期

2021年
9月18日(土) - 11月7日(日)

(休館日：月曜日・ただし9月20日(祝)、10月4日・11月1日 **ファーストマンデー** は開館)

巨大なピラミッドや神秘的なヒエログリフ、そして謎に包まれたミイラ。古代エジプト文明は、いつの時代も世界中の人々を魅了してきました。本展では、オランダのライデン国立古代博物館のコレクションから、最新の科学技術を用いた研究の成果をもとに、かつてない切り口で古代エジプト文明の神秘をご紹介します。



「ホルの外棺」後期王朝時代 ライデン国立古代博物館蔵
Image © Rijksmuseum van Oudheden (Leiden, the Netherlands)

第74回山口県美術展覧会 延期後の日程のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大の状況等に鑑み開催を見合わせていた、第74回山口県美術展覧会の新たな会期が決定しました。下記の日程にて開催いたします。

2021年 12月3日(金)～19日(日)

この長期にわたるコロナ禍においても、衰えることのない創作に対する意欲。美術作家たちの、エネルギーにあふれる作品の数々をご期待ください。

i 館内インフォメーション

県立美術館メンバーズクラブ 令和3年度会員募集受付開始!

山口県立美術館と山口県立萩美術館・浦上記念館の特別展を5回まで無料、6回目以降は半額。また、コレクション展(普通展示)は回数制限なく無料でご覧いただける、2館共通のメンバーズクラブです。

*この他の会員特典・入会方法などの詳細については、当館HPまたは会員募集チラシをご覧ください。

入会金：一般 2,800円、学生 2,300円
シニア(70歳以上)：1,900円
募集期間：令和3年4月1日(木)～9月30日(木)

2021.4 - 12

schedule

山口県立美術館 令和3年展覧会スケジュール

	コレクション展示	特別展示
4月		全館休館【4/1(木)～4/14(水)】
5月	4/15(木)～6/13(日) 5GVRで探る 山水長巻	4/15(木)～6/13(日) 山口の 甲冑・武具
6月	4/15(木)～6/13(日) 顔・カオ・貌	特別展 4/15(木)～6/13(日) 野口哲哉展—this is not a samurai ファーストマンデー 5/3、6/7
7月	7/8(木)～8/2(月) それぞれの「モダン」 —大正昭和の日本画	7/8(木)～8/2(月) 小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ ファーストマンデー 8/2
8月	7/8(木)～8/2(月) 松田正平	7/8(木)～8/2(月) 小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ ファーストマンデー 8/2
9月	9/18(土)～12/19(日) デジタルで楽しむ雪舟 「パノラマ山水長巻」 「5GVR 山水長巻」	9/18(土)～10/24(日) 黄金の花鳥
10月	9/18(土)～12/19(日) デジタルで楽しむ雪舟 「パノラマ山水長巻」 「5GVR 山水長巻」	9/18(土)～11/7(日) ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展 ファーストマンデー 10/4、11/1
11月	ひと口解説でつづる 原寸大山水長巻	10/26(火)～12/19(日) 雪舟
12月		12/3(金)～12/19(日) 第74回山口県美術展覧会 全館休館【12/20(月)～1/3(月)】

新型コロナウイルス感染症対策のため、混雑時には入場をお待ちいただく場合がございます。また、状況によっては展覧会スケジュールと予定等を変更いたします。ご来館前に当館ホームページをご確認ください。

Information

■休館日

月曜日 ※祝日・休日の場合は開館
※ただし、**ファーストマンデー** 特別展開催中の(第1月曜日)は開館。
年末年始 12/20(月)～2022年1月3日(月)
臨時休館 4月1日(木)～4月14日(水)、6月14日(月)～7月7日(水)、8月30日(月)～9月17日(金)、11月18日(木)～11月25日(木)

■開館時間

9:00～17:00(入場は16:00まで)

■料金

コレクション展：一般300円 学生200円
※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校在籍の方等は無料。
※障がい者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。
※2020年度メンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員の方、法人サポーターズ会員の方は無料。
※団体の受け入れを中止しています。
特別展ほか：別途定めた料金

f 美術館情報をFacebookで紹介しています。



山口県立美術館
Yamaguchi Prefectural Art Museum
〒753-0089
山口県山口市亀山町3-1
TEL: 083-925-7788
FAX: 083-925-7790
https://www.yma-web.jp/



Yamaguchi Prefectural Art Museum

135

Contents

山口県立美術館 館蔵品紹介

特別展

野口哲哉展—this is not a samurai

小村雪岱スタイル 江戸の粋から東京モダンへ

ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展

館内インフォメーション
年間スケジュール



雲谷等顔 《山水図》 澤庵宗彭賛 17世紀 紙本墨画 山口県立美術館蔵

山口県立美術館ニュース「天花」

天花

TENGE

Collection

山口県立美術館 館蔵品紹介

表紙作品解説

雲谷等顔

《山水図》澤庵宗彭賛 17世紀 紙本墨画
山口県立美術館蔵

一見何を描いているのかわかりにくい、抽象的な水墨画です。よく見ると、山や岩、木、楼閣、橋、舟、人、雁などが描かれた山水図とわかります。作者は安土桃山時代を代表する画家で、萩藩お抱え絵師・雲谷派の祖、雲谷等顔(1547-1618)です。

実はこの作品、昨年の「BRUTUS」特別編集号(2020年2月)の企画「死ぬまでこの目で見たい日本の絵5」で、現代美術作家の山口晃氏が5作品のうちの1点に選んでいると聞けば、俄然興味をもたれる方もいらっしゃるでしょう。

この墨をはね散らすように画面上に澆ぐ技法「澆墨」は、中国南宋時代13世紀の画家・玉潤が得意とし、日本では室町時代以降に流行しました。この玉潤様の山水図では、雪舟の国宝「山水図」(東京国立博物館蔵)が著名です。雪舟流の継承者である等顔ですが、本図では雪舟と同じモチーフを用いながら、独自の表現で描いています。たとえば岩の描写では、雪舟が筆を直線的に払うところを、等顔は曲線的に動かしています。岩や木には豪快に濃墨を用い、遠山や背景には微かに淡墨を施すなど、剛と柔を兼ね備えている点が等顔の水墨画の魅力です。

右上の賛文は、京都・大徳寺153代の住持・澤庵宗彭(1573-1646)の筆。澤庵漬の考案者とも伝わる人物で、3代将軍・徳川家光に重用された江戸時代初期を代表する禅僧です。賛文は「河の上には花や雪、月も見えないが、ここには寺も楼台もある。舟中に閑かに座り詩歌を聴けば、離れゆく雁の声も舟歌に調和する」といった意味をもつ漢詩であり、詩と絵の境目が一致した逸品です。

山口県立美術館 普及課主任 福田 善子

特別展

野口哲哉展

— this is not a samurai



《WOODEN HORSE》2020年 高松市美術館蔵



《21st Century Light Series ~ The Tap ~》
2020年 高松市美術館蔵



《BIAS》2019年 個人蔵

18歳以下無料

会期 2021年
4月15日(木) - 6月13日(日)
(休館日：月曜・ただし5月3日、6月7日
ファーストマンデーは開館)

会場 山口県立美術館
入館料 一般1,200円(1,000円)
70歳以上・学生1,000円(800円)
※()内は、前売りおよびオンラインチケットの料金

主催 山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送
野崎印刷紙業
協賛 山口県教育委員会、山口市、山口市教育委員会、一般社団法人山口県観光連盟、
山口商工会議所、一般財団法人山口観光コンベンション協会、湯田温泉旅館協同組合

特別協力 エフエム山口

鎧と人間をテーマに、現代性や人間性を問いかける美術作家、野口哲哉(1980年、高松市生まれ)。多様な文化や感情が混ざり合うユニークな世界観は国内外の幅広い層に支持されています。鎧を着た人物が所在なくたたずんでいるかと思えば、風船を見つめたり、空中に浮かんだり、時にはブランドロゴの付いた鎧を自然に着こなしたり。一見ユーモラスに見える作品は、どこか物悲しい雰囲気を感じており、そこには目まぐるしく移り変わる文明の中で、喜びや苦悩といった矛盾を抱えながら生きる人間の姿が鋭い視点で映し出されています。本展では、鎧をまとう人々の彫刻や絵画など、初期から新作まで代表作約180点で、野口哲哉の幅広い思考と精緻な作品に込められた優しさや悲しさ、人間への好奇心にあふれた世界を紹介します。



《17C ~ Music's Allegory ~ Based on Ferrimell》
2017年 個人蔵

講演会「野口哲哉、自作を語る」Vol.1

4月17日(土) 14:00~15:30 (13:30開場)
●講師：野口哲哉
●場所：山口県立山口図書館レクチャールーム
●定員：50名(聴講無料、要事前申込、先着順)

講演会「野口哲哉、自作を語る」Vol.2

5月16日(日) 14:00~15:30 (13:30開場)
●講師：野口哲哉
●場所：山口県立山口図書館レクチャールーム
●定員：50名(聴講無料、要事前申込、先着順)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を50名に限定し、2回開催といたします。

申込方法

参加をご希望の場合は、以下の必要事項を記入して、
①イベント名：講演会「野口哲哉、自作を語る」Vol.1またはVol.2
②参加希望日 ③参加者全員の氏名 ④年齢 ⑤住所 ⑥電話番号 を記入の上、
山口県美ホームページ (<https://www.yma-web.jp/>) の申込フォームまたは往復はがきからお申し込みください。



《Cat-walk 2020》
2020年 高松市美術館蔵

特別展

小村雪岱スタイル

江戸の粋から 東京モダンへ



小村雪岱「おせん 雨」 木版 昭和16年(1941)年頃 清水三年坂美術館



小村雪岱「青柳」 木版多色刷
昭和16年(1941)年頃 個人蔵



並河靖之「藤に蝶図花瓶」
明治時代 清水三年坂美術館



小村雪岱「見立寒山拾得」
木版多色刷 昭和17年(1942) 個人蔵



泉鏡花「日本橋」大正3年(1914) 清水三年坂美術館

シンプルかつ大胆な構図、豊かな情趣を宿した人物や風景、そして繊細な描線——大正から昭和初期にかけて、装幀、挿絵、舞台美術など多岐にわたるジャンルに新風を吹き込み、大衆を魅了した小村雪岱(1887~1940)の画業に、いま再評価の機運が高まっています。雪岱は東京美術学校で下村観山に学び、卒業後、古美術雑誌出版の國華社で古画の模写に従事するなど、若き日には日本画家としての基礎力を磨きました。大正3年(1914)27歳の時、敬愛する泉鏡花の単行本『日本橋』の装幀を手掛けて高い評価を得たのをきっかけに、数多くの美しい書籍を世に送り出し、人気装幀家として名の知れた存在となります。大正7年(1918)から約5年間は、発足まもない資生堂意匠部で最先端のデザインに携わり、その後小説挿絵や舞台美術にも活動範囲を広げ、昭和15年(1940)、53歳で急逝するまで、いわゆる商業美術の世界を中心に多くの足跡を残したのです。

本展は江戸の粋を受け止め、東京のモダンを体現した「意匠の天才」と称される雪岱の魅力や、挿絵や装幀、舞台装置画、肉筆画と版画作品など約120点を通して、西日本で初めてご紹介いたします。

加えて《雪岱スタイル》のルーツである鈴木春信の浮世絵や、互いに一目置く存在であった鍋木清方の挿絵作品、そして高度なデザインセンスと繊細な技術を併せ持つ、並河靖之や柴田是真らをはじめとする明治・大正期の工芸、さらに雪岱スタイルに私淑する現代美術作家らの作品を交えながら、その系譜を複層的にご紹介します。

今なお斬新で色あせず、モダンであり続ける、洗練された美の世界をご堪能ください。



小村雪岱「月に美人」 絹本着色 清水三年坂美術館

会期 2021年
7月8日(木) - 8月29日(日)
(休館日：月曜・ただし8月2日 **ファーストマンデー**、
8月9日(祝)は開館)

会場 山口県立美術館

18歳以下無料

入館料 [予定] 一般1,400円(1,200円)
70歳以上・学生1,200円(1,000円)
※()内は、前売りおよびオンラインチケットの料金

主催 山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送
特別協力 清水三年坂美術館
監修 山下裕二(明治学院大学教授)
企画協力 広瀬麻美(浅野研究所)